

2014年(平成26年)2月19日[水曜日]

- [文字サイズ 小](#)
- [文字サイズ 中](#)
- [文字サイズ 大](#)



NHK岩手県のニュース 盛岡放送局

※NHKサイトを離れます



実習船返還の米高校生ら来日



東日本大震災の津波で漂着した実習船の返還に協力したアメリカ・カリフォルニア州の高校生が18日、県立高田高校を訪問し、熱烈な歓迎を受けました。

陸前高田市の県立高田高校の実習船は震災の津波で流され、およそ8000キロ離れたアメリカ・カリフォルニア州の海岸に漂着しましたが地元の高校生などの協力で去年10月に返還されました。

これをきっかけに生まれた交流を深めようと、実習船の返還に協力したアメリカ・クレセント市のデルノート高校の1年生から3年生の生徒6人が来日しました。

18日は大船渡市にある高田高校の仮校舎で歓迎セレモニーが開かれ、6人が体育館に入場すると、集まったおよそ330人の生徒が盛大な拍手で迎えました。

そして高田高校の角館覚副校長が「実習船が返ってきたことは奇跡です。船が戻ってきた時は感激し、前に進もうと思いました」と感謝の言葉を伝えました。

このあと、デルノート高校の6人が順番にあいさつし、高校の仲間たちがサインをしたバレーボールやシャツなどを記念に持ってきたことを紹介しました。

最後に記念品の交換が行われ、高田高校からは交流の証として津波で流された高田松原の松でつくった数珠などが贈られました。

6人の生徒たちは午後は高田高校の授業に参加して交流を深めることにしています。

02月18日 11時45分